



国体に向けオンラインで佐賀と交流



10月14日、輝北小学校で「鹿児島・佐賀エールプロジェクト（学校給食を利用した交流プロジェクト）」として、輝北小学校と佐賀市立富士小学校がオンラインで交流を行いました。両校はお互いの市や県などの特色を紹介し合った後、富士小学校は黒豚のバラ肉を使った「かのや豚ばら丼」、輝北小学校は佐賀牛を使用した佐賀市のご当地グルメ「シシリアンライス」をそれぞれ給食で味わいました。

地域を守るリーダーを育てる



10月2日、リナシティかのやで「鹿屋市地域防災リーダー養成講座及び鹿屋市地域防災サポーター育成講座」が行われました。これは、自主防災組織の活性化と地域防災力向上を目的に行ったもので、今回が初開催。防災の知識や救命救急に関する幅広い内容の講習が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。講習後は市から認定証が交付され、11月から活動をスタートしています。



赤い羽根募金開始 その心が誰かの助けに

10月1日、「赤い羽根空の第一便伝達式」が行われました。同日から開始される共同募金運動のシンボルである赤い羽根等の受け渡し式を市役所で実施。その後スーパーセンターニシムタ鹿屋店（大浦町）で募金活動を行いました。



新加工場が完成 地域総出で祝う

10月1日、古江漁港で鹿屋市漁業協同組合新加工場の竣工式が行われました。皆倉貢組合長は「加工処理数の増加と販路拡大に取り組みたい」とあいさつ。神事後には餅まきも行われ、地域総出で新加工場の完成を祝いました。



鹿屋看専の学校祭 「白爛祭」を開催

10月1日、鹿屋看護専門学校で「第15回白爛祭」が開催されました。当日は、感染症対策のため学生の家族とオープンキャンパス申込者のみの参加。看護体験やバザー、アロマオイルを使用した手浴体験などを行いました。



パラスポーツも 体験できるイベント

10月9日、串良平和アリーナで「スポーツフェスタinかのや2022」が開催されました。当日は様々なスポーツ種目のほか、車いすバスケットなどの障がい者スポーツコーナーも設置。323人が来場し、様々なスポーツを楽しみました。



県大会6部門で入賞 全国の舞台へ

10月4日、鹿屋農高農業クラブが鹿屋市を訪れました。これは同クラブが平板測量や農業鑑定等で好成績を取ったことに伴い、10月に開催される「日本学校農業クラブ全国大会」などに出場するため報告を行ったものです。



救助訓練の成果を 全国の舞台で発揮

10月3日、大隅肝属地区消防組合の消防士、松清真也さんと牧竜佑さんが市役所を訪れました。両名は県代表として「第50回全国消防救助技術大会」にロープ応用登はん競技で出場。10秒4という結果を残し、見事入賞に輝きました。